



坂東地域アグリ通信

令和8年3月19日
坂東地域農業改良普及センター 発行
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

境町の(株)光ファームが「GAP Japan アワード2025」受賞!

「GAP Japanアワード」とは、年に一度、GAPの普及を一層推進し、持続可能な農業の未来を切り拓く経営体やJA等団体の優れた取組を表彰するものです。この度、境町の普通作大規模経営体である(株)光ファームが「GAP Japanアワード2025」を受賞しました。

「持続的な営農には、働きがいのある職場づくりが不可欠」との考えから、JGAPを(株)光ファームの人材育成と組織づくりの柱とし、2019年にJGAP認証を取得しました。

JGAP認証を取得した際に整理した作業工程とリスク評価をもとに仕事をリストアップすることで、仕事の見える化を行っています。また、社会保険労務士の支援のもと、根拠のある給与体系と人事評価の仕組みづくりを行い、独自の人事評価制度を2020年に完成させ、運用しています。

仕事をリスト化したことで、従業員は「何をどう頑張ればよいのか」が分かるようになり、役員はGAPを根拠として従業員に自信を持って指導できるようになりました。

また、出荷組織の組合長として地域の生産者13名のJGAP団体認証をリードし、地域へのGAP普及にも貢献しています。

「人が育ち、会社が育ち、社会の役に立ち、100年続く経営」を目標に(株)光ファームの挑戦は続きます。



(株)光ファーム役員・スタッフ一同



清掃され、きれいに格納された農機類

春野菜統一目揃え会が開催されました

2月27日(金) JA茨城むつみ境地区野菜生産部会による春野菜統一目揃え会が開催されました。境町のレタスは、安定生産と品質の高さが消費者から評価されており、県の銘柄産地に指定されています。

目揃え会では、生産者や農協のほか、市場関係者、町役場など約80名が参加し、レタス、サニーレタス、グリーンカールの品質や規格を確認しながら意見交換を行いました。市場関係者からは「品質が良好で思わず手にとりたくなる」との声が聞かれ、秀品出荷ができてきている様子でした。また、「今後は砂かみが増えるため、十分に確認してから出荷してほしい」との注意喚起がありました。

普及センターからは、今年度、他の地区で取り組んだ秋冬レタスの診断施肥技術を活用したコスト削減事例について説明を行いました。また、3~4月にかけて発生が増加する病害についても、情報提供を行い、注意を促しました。

境町のレタス類は、3月下旬から4月中旬にかけて出荷のピークを迎える予定です。普及センターでは、引き続きレタス類の高品質・安定生産に向け、支援していきます。



適切な管理により、強い水稻苗を育苗しましょう②

No.238では種子準備～育苗管理について大まかな流れを説明しましたが、今回は育苗時の温度・水管理のポイントについて説明します。

ポイント① ～低温管理に注意～

- ・出芽時の温度は28～30℃とします。温度不足により出芽までに時間がかかる場合、リゾプス菌等による苗立枯病が発生しやすくなります。
- ・フザリウム菌やピシウム菌が発生しやすくなるため、緑化期は昼20～25℃、夜15～20℃で2～3日間、硬化期は昼20～25℃、夜10～15℃で10～14日間で管理し、育苗ハウス内は10℃以下にならないようにします。

ポイント② ～高温・水管理に注意～

- ・イネ籾枯最近病は、30℃以上の高温で増殖が活発になります。発生を防ぐため、育苗ハウス内が30℃を超えないよう、早めの換気で温度調節を徹底しましょう。また、かん水量に注意し、夕方に少し乾く程度にします。灌水のやりすぎは根の発育を阻害し、軟弱苗になるので注意します。
- ・ムシ苗は2葉期から移植期にかけて低温が続いた後に、急激な高温になると発生しやすくなります。発生時は速やかに移植するか、出来ない場合は遮光資材をかけて茎葉を湿らせ(床土に水はかけない)、根の保湿に努めて回復を待ちます。

ご不明な点等ありましたら、普及センターまでご連絡をお願いいたします。

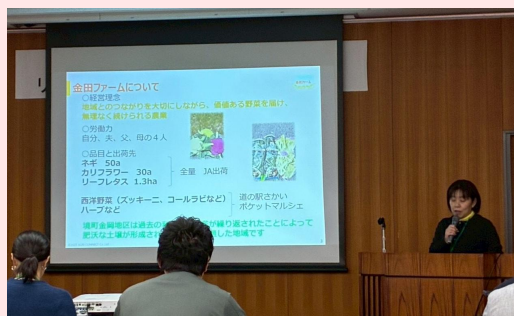


イネもみ枯細菌病
(茨城県農林振興公社、HP)

いばらき農業アカデミーリーダー農業経営者育成講座を紹介します

リーダー農業経営者育成講座は、県農業総合センターで開催される、年10回程度の講座で、2つのコースがあります。講義、グループワーク、個別相談等を通じて、個々の経営理念や行動計画を磨き、自身の経営発展モデルの作成に取り組み、最後にその成果を発表します。

- 経営発展コース：農業経営に参画しており、組織的な経営体としてさらなる成長・発展に取り組みたい方を想定しています。
- 経営課題解決コース：農業経営に参画している、もしくは参画する予定であり、経営を安定化させるために、経営課題の解決に取り組みたい方を想定しています。



経営発展モデル発表の様子



閉講式の集合写真



坂東管内受講者

来年度も開講を予定しています！普及センターまでお問い合わせください！

〔 左：金田 あつみ氏
右：山根 聡氏 〕

4月の土壌診断実施日のお知らせ

4月は、8日（水）、22日（水）の2回を予定しています。

- ・個人の農家の方が対象です。
- ・1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断となります。
- ・受け付けは前日まで可能ですが**先着順**となりますので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- ・1人あたり5点以内の持ち込みをお願いします。
- ・土は乾燥させてから、持ち込みをお願いします。

編集後記

今月で採用されてから1年が経ち、業務にも少しずつ慣れてきました。来年度も一層気持ちを引き締めて業務に取り組んでいきます。最近、暖かいので、ハオルチアの伸びが良く見えて楽しいです。去年はつつきすぎて一株枯れたので、今年は少し自重しようかと思えます。（阿武）